室町(むろまち)時代の生活

ポイント1　農業と手工業

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 農業

二毛作(にもうさく)・牛馬耕(ぎゅうばこう)・新肥料(ひりょう)の使用・かんがい技術などがさらに広まる

↓

生産力の向上

② 商品作物

麻(あさ)・＿綿＿・茶・藍(あい)・桑(くわ)などの栽培も広がる

③ 手工業

＿西陣(にしじん)＿（京都市）や博多（福岡県）の絹織物，

瀬戸(せと)（愛知県）の陶器，

美濃(みの)（岐阜県）・越前(えちぜん)（福井県）の和紙などの

特産物が各地で生産

資料1 絹織物の例（京都市の西陣(にしじん)織）

銅・銀・金などの輸出と生糸の輸入が進む

ポイント2　商業と交通

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 商業・金融

＿定期市(ていきいち)＿の開催が月3回から月6回に増加（応仁(おうにん)の乱以後）

同業者ごとの＿座＿は朝廷(ちょうてい)や大寺社の保護により営業を独占

貨幣の流通（＿明＿銭など）により金融業が発達

高利貸しの＿土倉(どそう)＿・＿酒屋(さかや)＿は幕府に保護されるかわりに税を納める

資料2 明銭（永楽通宝）

※イラスト

② 交通

商業・金融とともに輸送業が発達

都市近郊では **馬借(ばしゃく)** や車借(しゃしゃく)などが物資を運ぶ

各地の問(とい)（問丸(といまる)）が問屋へと発展

交通の要所には貴族や寺社により

関所(せきしょ) が設置され通行税の徴収を行う

ポイント3 民衆による自治

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 村の自治

惣(そう)（惣村(そうそん)）：近畿地方を中心に発達した農民の自治組織

寄合(よりあい) を開き村のおきてを決める

土一揆(つちいっき / どいっき)：土倉・酒屋・寺院などをおそい借金の帳消し（**徳政** 令）

などを求める

【例】1428年の正長(しょうちょう)の土一揆

1441年の嘉吉(かきつ)の土一揆

資料3 正長の土一揆（徳政一揆）の碑文(ひぶん)

正長元年ヨリ
サキ者（は），カンヘ（べ）四カン
カウ（ごう）ニヲヰ（い）メアル
ヘ（べ）カラス（ず）
（1428年以前の借金は神戸(かんべ)四か郷(ごう)では帳消しにする）

② 民衆による自治

産業や流通の発展

↓

各地の門前町（もんぜんまち）・港町・宿場町や，

戦国大名の＿城下＿町などが栄える

京都では裕福な商工業者である＿町衆（ちょうしゅう）＿が祇園祭を復興する

港町の＿堺＿（大阪）では会合衆，

博多（福岡県）では年行事と呼ばれる豪商が自治を行う

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 室町時代に西陣（京都府）や博多（福岡市）で特産物として生産されたものは何か。　＿＿＿＿＿　絹織物

(2) 京都で自治を行っていた裕福な商工業者たちを何というか。　＿＿＿＿＿　町衆

(3) 朝廷や大寺社からの保護により，営業を独占した同業者たちを何というか。　＿＿＿＿＿　座

(4) 1428年に起こった，借金の帳消しなどを求める一揆を何というか。　＿＿＿＿＿　正長の土一揆

(5) 室町時代の応仁の乱以降，開催が月3回から月6回に増加したものは何か。　＿＿＿＿＿　定期市

(6) 室町時代の都市近郊で，陸上で馬を使って物資を運んだ業者を何というか。　＿＿＿＿＿　馬借